

TIMS/MANA JOINT SEMINAR



題目：バイオマテリアル界面が細胞機能に与える影響とその応用究

講師：干場 隆志

物質・材料研究機構 生体材料センター

日時：1月20日(水) 17:30-19:30

場所：総合研究棟B512教室

講演概要

細胞培養プレートなどのバイオマテリアル上で細胞を培養すると、培養に伴い細胞外マトリックス(ECM)タンパク質が沈着することが知られている。肝細胞をガラクトースをもつ糖鎖高分子(PVLA)あるいはポリリシンコート表面上で培養すると、コートされた高分子の種類によって、沈着するECMタンパク質が異なり、細胞機能に大きな影響を与えていることがわかった。最近、この培養に伴うECMタンパク質の沈着という現象を利用して、新たに「組織分化模倣型マトリックスを開発した。このマトリックス上における間葉系幹細胞の分化に与える影響についても発表する。